



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 ZACROS株式会社 上場取引所 東
コード番号 7917 URL <https://www.zacros.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下田 拓
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 佐藤 道彦 TEL 03-5804-4221
管理部門統括
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	41,420	5.4	3,359	△2.9	3,438	△4.6	2,541	3.7
2026年3月期第1四半期	39,307	2.2	3,459	△0.6	3,603	△4.5	2,449	1.0

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 3,083百万円 (157.8%) 2026年3月期第1四半期 1,196百万円 (△65.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	35.51	35.17
2026年3月期第1四半期	33.29	32.98

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	159,787	105,753	60.2	1,343.60
2026年3月期	156,791	104,339	60.5	1,324.14

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 96,210百万円 2026年3月期 94,846百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	72.00	—	18.00	—
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		18.00	—	18.00	36.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期の1株当たり第2四半期末配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2026年3月期の1株当たり年間配当金合計は、株式分割の実施により、第2四半期末配当金と期末配当金との単純合算ができないため記載していません。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 176,000	% 11.0	百万円 11,200	% 1.3	百万円 11,500	% △6.5	百万円 6,500	% △15.7	円 銭 90.79

（注） 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 （社名）ZACROS INDIA PVT. LTD.

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	77,071,040株	2026年3月期	77,071,040株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	5,464,770株	2026年3月期	5,442,270株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	71,563,484株	2026年3月期1Q	73,599,858株

（注）当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、ウェルネス事業では減収となったものの、情報電子事業では大きく売上を伸ばし、環境ソリューション事業、産業インフラ事業でも増収を確保しました。その結果、当社グループの売上は前年同期比で増収となりました。

損益面では、原材料価格の高騰に対応して価格転嫁および生産効率の向上を推進しましたが、エネルギー・輸送コスト、人件費、減価償却費の増加などにより、前年同期比で営業利益、経常利益は減益となりました。また、保険金収入の計上があったため、親会社株主に帰属する四半期純利益については増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高414億20百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益33億59百万円（前年同期比2.9%減）、経常利益34億38百万円（前年同期比4.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益25億41百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(ウェルネス事業)

医薬向け剥離フィルムの需要は堅調に推移したものの、医薬・医療用包装材で一部の原材料の品質問題により供給が滞り、生産活動に影響が生じたことで売上が伸び悩みました。またバイオ医薬品等製造用シングルユースバッグ（BioPhaS[®]（バイファス））では主要顧客の一時的な需要変動により大きく減収となり、事業全体で減収となりました。損益面では、減収影響などにより事業全体で減益となりました。

この結果、売上高は65億67百万円（前年同期比10.0%減）、営業損失は1億12百万円（前年同期は営業利益3億16百万円）となりました。

(環境ソリューション事業)

つめかえ包装、その他軟包装、OA機器関連包装、液体容器いずれも増収したことにより、事業全体で増収となりました。損益面では、増収効果などにより、事業全体で増益となりました。

この結果、売上高は90億66百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は8億83百万円（前年同期比90.6%増）となりました。

(情報電子事業)

ディスプレイ関連については、プロテクトフィルムは減収となりましたが、電子部材関連他では、AI分野向けを中心とする半導体市場の成長により層間絶縁フィルムが増収となり、事業全体で増収となりました。損益面では、増収効果などにより事業全体で増益となりました。

この結果、売上高は152億13百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は14億52百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

(産業インフラ事業)

建築資材関連においては、集合住宅向けボイドスラブ（床構造部材）及び、土木資材の売上が増加しました。化成品については、包装資材の売上が好調であったことにより増収となり、事業全体でも増収となりました。損益面では、商品の構成率の変化、固定費の増加などにより減益となりました。

この結果、売上高は105億72百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は11億36百万円（前年同期比14.8%減）となりました。

	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		前年同期比	
	金額 (百万円)	売上高比率 (%)	金額 (百万円)	売上高比率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	39,307	100.0	41,420	100.0	2,113	5.4
ウェルネス	7,294	18.6	6,567	15.9	△726	△10.0
環境ソリューション	8,263	21.0	9,066	21.9	802	9.7
情報電子	13,673	34.8	15,213	36.7	1,539	11.3
産業インフラ	10,074	25.6	10,572	25.5	497	4.9
営業利益	3,459	8.8	3,359	8.1	△100	△2.9
ウェルネス	316	4.3	△112	△1.7	△429	-
環境ソリューション	463	5.6	883	9.7	419	90.6
情報電子	1,345	9.8	1,452	9.5	107	8.0
産業インフラ	1,334	13.2	1,136	10.8	△197	△14.8

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権が増加したことなどにより、前年度末に対して29億95百万円増加の1,597億87百万円となりました。

負債は、賞与引当金や未払法人税等が減少した一方で、未払金が増加したこと、ならびに大規模成長投資補助金について、概算払請求による入金があったことで「流動負債」の「その他」が増加したことなどにより、前年度末に対して15億82百万円増加の540億34百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したことなどにより、前年度末に対して14億13百万円増加の1,057億53百万円となり、自己資本比率は60.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年5月8日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,844	16,379
受取手形、売掛金及び契約資産	35,406	36,484
電子記録債権	6,300	6,582
商品及び製品	9,538	8,884
仕掛品	2,005	2,332
原材料及び貯蔵品	6,832	7,073
その他	5,648	6,111
貸倒引当金	△56	△59
流動資産合計	80,518	83,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	57,606	59,915
減価償却累計額	△31,175	△31,587
建物及び構築物（純額）	26,430	28,328
機械装置及び運搬具	76,250	78,247
減価償却累計額	△62,977	△63,978
機械装置及び運搬具（純額）	13,272	14,269
工具、器具及び備品	9,328	9,523
減価償却累計額	△8,069	△8,206
工具、器具及び備品（純額）	1,259	1,316
土地	9,594	9,641
建設仮勘定	17,564	14,258
その他	3,307	3,348
減価償却累計額	△1,387	△1,482
その他（純額）	1,919	1,865
有形固定資産合計	70,041	69,680
無形固定資産		
のれん	32	16
その他	791	983
無形固定資産合計	824	1,000
投資その他の資産		
投資有価証券	2,871	3,038
繰延税金資産	1,589	1,321
その他	957	970
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	5,406	5,318
固定資産合計	76,273	75,999
資産合計	156,791	159,787

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,273	19,926
電子記録債務	1,670	1,283
短期借入金	3,266	3,258
未払金	5,498	6,403
未払法人税等	2,089	1,369
契約負債	896	1,111
賞与引当金	1,791	1,061
役員賞与引当金	150	42
その他	3,452	5,142
流動負債合計	38,087	39,598
固定負債		
長期借入金	7,214	7,222
繰延税金負債	122	146
退職給付に係る負債	4,219	4,309
役員退職慰労引当金	632	631
リース債務	1,846	1,793
その他	327	331
固定負債合計	14,364	14,435
負債合計	52,452	54,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,600	6,600
資本剰余金	6,590	6,518
利益剰余金	79,900	81,152
自己株式	△5,090	△5,177
株主資本合計	88,000	89,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,182	1,369
為替換算調整勘定	5,292	5,389
退職給付に係る調整累計額	370	356
その他の包括利益累計額合計	6,845	7,115
新株予約権	351	240
非支配株主持分	9,142	9,303
純資産合計	104,339	105,753
負債純資産合計	156,791	159,787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	39,307	41,420
売上原価	29,585	31,553
売上総利益	9,721	9,866
販売費及び一般管理費	6,261	6,506
営業利益	3,459	3,359
営業外収益		
受取利息	62	37
受取配当金	28	24
受取保険金及び配当金	125	0
為替差益	—	28
補助金収入	0	—
リサイクル収入	25	23
その他	52	47
営業外収益合計	295	162
営業外費用		
支払利息	44	81
為替差損	105	—
遊休資産維持管理費用	—	1
その他	2	1
営業外費用合計	152	83
経常利益	3,603	3,438
特別利益		
固定資産売却益	0	0
保険金収入	—	726
特別利益合計	0	726
特別損失		
固定資産除却損	48	13
特別損失合計	48	13
税金等調整前四半期純利益	3,554	4,150
法人税、住民税及び事業税	969	1,154
法人税等調整額	△118	214
法人税等合計	850	1,369
四半期純利益	2,703	2,781
非支配株主に帰属する四半期純利益	254	240
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,449	2,541

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	2,703	2,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	183
為替換算調整勘定	△1,493	133
退職給付に係る調整額	△20	△15
その他の包括利益合計	△1,507	301
四半期包括利益	1,196	3,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,269	2,811
非支配株主に係る四半期包括利益	△73	272

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記)

2026年3月に設立されたZACROS INDIA PVT. LTD. は、今後、アジアの戦略上の拠点として重要性が高まることから、事業の開始に伴い、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,497百万円	1,752百万円
のれんの償却額	16	16

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス	環境ソリューション	情報電子	産業 インフラ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,294	8,263	13,673	10,074	39,307	—	39,307
セグメント間の内部 売上高又は振替高	57	373	294	829	1,554	△1,554	—
計	7,351	8,637	13,968	10,903	40,861	△1,554	39,307
セグメント利益	316	463	1,345	1,334	3,459	—	3,459

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス	環境ソリューション	情報電子	産業 インフラ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,567	9,066	15,213	10,572	41,420	—	41,420
セグメント間の内部 売上高又は振替高	91	418	392	417	1,319	△1,319	—
計	6,658	9,485	15,606	10,990	42,740	△1,319	41,420
セグメント利益又は損 失(△)	△112	883	1,452	1,136	3,359	—	3,359

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。